



永平寺町社会福祉協議会だより

編集発行／社会福祉法人永平寺町社会福祉協議会
<http://www.eiheijishakyo.jp/>

2017 12月号

vol.99



ふだんの
くらしの
しあわせ

Contents

社協からのお知らせ

報告 シニア趣味講座を終えて

「ごちゃまぜ」一視察研修のご報告一

家で、地域で、最後まで暮らすということ

ひとりで悩んでいないですか？／寄附御礼

わくわく一座 お正月公演／社協の教育支援資金

ほほえみクイズに挑戦してみよう!!

『もうすぐお正月』

渡辺 定子さん 永平寺町野中在住

撮影場所:永平寺老人福祉センター「永寿苑」

今回のほほえみ「12月号」は全4ページとなっております。



「この広報誌は、点訳版も発行しています。」

ひとりで悩んでいないですか？

弁護士による無料法律相談

13：00～16：00

- ◆1月25日(木)
松岡福祉総合センター「翠荘」
担当弁護士：端 将一郎氏
- ◆2月22日(木)
永平寺老人福祉センター「永寿苑」
担当弁護士：井花 正伸氏
- ◆3月22日(木)
永平寺町やすらぎの郷
担当弁護士：野条 泰永氏

※1回8名の方を受け付けています。
※お1人様の相談時間は20分程度となります。
※事前に電話予約が必要となります。

心配ごと相談

13：30～16：00

- ◆1月4日(木)
松岡福祉総合センター「翠荘」
- ◆1月11日(木)
永平寺老人福祉センター「永寿苑」
- ◆1月18日(木)
永平寺町やすらぎの郷

どこに相談したらよいかわからない時、
また誰かに話したいけれども話にくい時に、
安心して相談できる場所です。
相談員は、民生・児童委員等で、相談内容についての秘密は厳守いたします。

～秘密は必ず守ります～

寄附御礼

平成29年11月1日～11月30日

次の皆様から、社会福祉のためにたくさんの「まごころ」が寄せられました。
深くお礼申し上げます。

皆様からいただいた寄附金・寄贈品は、寄附されました方の希望される使途を尊重
させていただきますとともに、社会福祉のため有効に活用させていただきます。

	受領日	氏 名	(住 所)	金額(品名)	受入区分
寄附金	11月13日	幅田 照男 様	牧福島	¥100,000	上志比デイサービス事業
	11月13日	大西 多喜子 様	松岡渡新田	¥50,000	地域福祉活動事業
	11月21日	匿名 様	匿住所	¥660	法人運営事業
物 品	11月13日	匿名 様	匿住所	米3袋	永平寺デイサービス事業
	11月14日	匿名 様	匿住所	ゼリー、缶ジュース、乾麺等	地域福祉活動事業
	11月20日	松浦 治孝 様	松岡芝原	餅米1袋	各デイサービスセンター事業
	11月27日	匿名 様	匿住所	米1袋、オムツ	松岡デイ(米)、えいへいじ居宅(オムツ)
	11月28日	匿名 様	匿住所	フットマッサージャー	永平寺事務所運営事業

社協からのお知らせ！

報告

シニア趣味講座を終えて

- ◆趣味として何かを始めたいな。
- ◆せっかくカメラを持っても、うまく使えないよ。
- ◆いつも同じ写真になってしまうよ。
- ◆みんなでわいわい集まって楽しくしたいな。

これらの声にお応えして、趣味のカメラ講座を開催しました。

写真愛好家の鈴木昌勝氏（永平寺町栃原在住）を講師としてお招きして、町内のシニアの方を対象に、趣味のカメラ講座を10月28日と11月12日の2日間にわたり開催。12名の方が参加されました。

<講座内容>

- ☆カメラの仕組みを学ぼう
- ☆撮影時のポイントを学ぼう
- ☆人物を撮影しよう
- ☆レンズの種類を知ろう
- ☆お花や仏像を撮影しよう
- ☆作品を見てみよう

皆さんで、カメラ片手に和気あいあいと撮影したり、互いに作品を見合ったりしました。

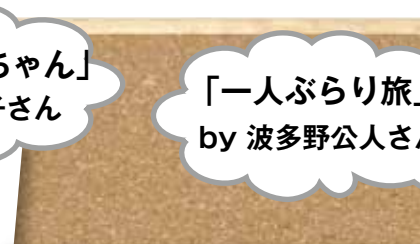
参加された方から、「またみんなで集まって写真をとりたいね」という声があがるなど終始和やかなムードでおこなわれました。



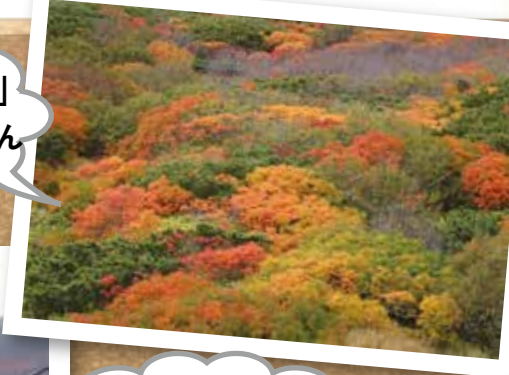
「港の風景」
by 森山和子さん



「うちのワンちゃん」
by 三好みや子さん



「一人ぶらり旅」
by 波多野公人さん



「あかね雲」
by 楽木美和子さん

講座後・・・参加者のみなさんは、
いろいろな写真を撮って
楽しんでおられます。

わくわく一座 お正月公演

平成30年の幕開けにふさわしく、お正月公演はわくわく一座の皆さんの登場です。模擬店等もあります。ご近所、お友達お誘い合わせの上、多数ご来場くださいますよう心よりお待ちしております。

★日時：平成30年1月10日(水)
10：30～15：00
★会場：永平寺老人福祉センター「永寿苑」
(永平寺町飯島6-34 ☎63-3868)

社協の教育支援資金

進学を応援します!!

高校や大学などに就学するのに必要な入学金や授業料などで
お困りの方に対し、その費用をお貸しする
生活福祉資金貸付制度の「教育支援資金」があります。

- 対 象** 学校教育法に定める学校(高校、高専、短大、大学および専修学校)に入学する者
- 内 容** 以下のとおり2つの支援費があります。

教育支援費

就学するのに必要な費用
(例：授業料・通学費・寮費など)

就学支度費

入学に際し必要な費用
(例：入学金・教科書代・制服代など)

※但し、日本学生支援機構の給付型奨学金および第1種奨学金、母子父子寡婦福祉資金などの貸付制度が優先となります。詳細は当会ホームページをご覧ください。

お問い合わせ・申し込みは 永平寺町社会福祉協議会 ☎0776-64-3000
永平寺事務所 ☎0776-63-3868
松岡事務所 ☎0776-61-6003

家で、地域で、最後まで 暮らすということ ～在宅ケアの現場から～

医師、看護師、介護者をお迎えし在宅ケアの取り組みを紹介。
それぞれの立場から在宅ケアについて考えます。

日 時：平成30年1月13日(土曜日)
14：00～15：30

場 所：永平寺開発センター2階消防ホール
参加費：無料

講 師：嶋田医院 嶋田 明彦氏
ひかり訪問看護ステーション 山田 里美氏
介護者：小規模多機能型居宅介護事業所 ほっこり
竹澤 香氏

申し込み締め切り日：平成30年1月11日(木曜日)

お問い合わせ・申し込みは 永平寺町社会福祉協議会 地域包括支援センター
永平寺町松岡春日1-4 ☎0776-61-6166
(永平寺町役場本庁1階)

※受付時間は平日(土日祝日を除く) 8：30～17：30まで

「ごちゃまぜ」—視察研修のご報告—

11月29日(水)参加申し込みをいただきました9名と事務局職員5名を合わせた全14名で石川県小松市の社会福祉法人 佛子園 西園寺へ視察研修に行ってきました。地域住民からの要望をきっかけに廃寺であった西園寺が障がい者の働く場と高齢者デイサービスに生まれ変わりました。そこには、食堂と温泉もあり、今ではなんと地域の全世帯が利用しているそうです。また、そんな地域との交流の中で障がいのある方の生きいきと働く姿や高齢者の笑顔をたくさん見る事ができました。子どもたちが自由に入出入りする姿やいろいろな大人たちとのふれあいは、まさしく地域が一つの家族かのように見え、とてもほほえましい光景を目にすることができました。大人に子ども、障がいのある方ない方みんなが“ごちゃまぜ”に過ごす姿は西園寺が描くコンセプトであるとのこと。『ぜび永平寺町にも、こんな“ごちゃまぜ”な風景があるといいですね』と、参加者の皆さまも同様の意見を口々にされていました。今回の視察研修で得た経験を今後の永平寺町の発展に寄与していきたいと考えております。



境内の落ち着いた雰囲気での説明会
館内は障がいのある方がきれいに管理されていました。



ほほえみクイズに挑戦してみよう!!

町でよく見かける「障がい者マーク」。皆さんも、一度は目にされたことがあるマークから、初めてご覧になるマークがあるかと思います。これらのマークにどのような「意味」があるのかクイズにチャレンジして今一度確かめてみましょう!!



問題

左にならんでいるのは、障がい者マークです。障がい者マークとそのマークに合う説明文を選んで線でつなげてみましょう。

※クイズの答えは同ページ下部に記載しています。



A



☆

☆

1

耳の不自由な人が運転する車に付けるマークです。

【聴覚障害者標識】

B



☆

☆

2

体に障がいのある人が運転する車に付けるマークです。

【身体障害者標識】

C



☆

☆

3

耳の不自由な人が、自分の耳が不自由であることを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。

【耳マーク】

D



☆

☆

4

体の障がいのある方が使いやすい建物や施設についている世界共通のシンボルマークです。

【障害者のための国際シンボルマーク】

E



☆

☆

5

目の不自由な方を表す世界共通のシンボルマークです。手紙や本、信号機などについています。

【盲人のための国際シンボルマーク】

いかがでしたでしょうか?

問題にもあった【障害者のための国際シンボルマーク】ですが、駐車場でもよく見かけるマークだと思います。実はこのマーク、車椅子の方だけではなく、妊婦さんや怪我人の方も含まれており、優先駐車スペースとして確保されています。

このように、意外と知っていそうで知らないマークもあったかと思います。正しい理解と正しい使用方法、そして思いやりの心ですべての方が過ごしやすい地域となるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

